

【やりとりと判定の実例：B1 △】

<ロールカード>

日本人の友だちに、あなたの国の有名な料理について聞かれました。
 どんな料理なのか、どうやって作るのかなど、友だちに詳しく説明してください。

T：テスター、S：受験者

発話例	判定の根拠
<p>T：有名な料理っていうと何ですか。 S：私の国で有名な料理は、肉まんじゅう。① T：あー、肉まんじゅうですか。いいですね。あの、どうやって作るか、教えてもらえますか。 S：はい。どうやって。肉まんじゅう、使い方は、ぎょうざが同じ。はい。んー、肉まんじゅうは大きい。餃子は、小さい。はい。使い、方、あ、同じ。② T：どうやって作りますか。まず、最初に、どんな材料を。 S：あ、あ、調味料。いろいろ、あ、あ、しょうゆは、野菜、野菜。③ T：野菜は、どんな野菜がいいですか。 S：どんな野菜。んー。んー。どんな野菜。トマト。④ T：トマト S：ああ。トマトいいです。あ、私、トマト、食べます。 T：そうですか。トマト S：トマト、きります。あ、トマト切りますは、少し、少し、んー、細います。あー、たくさん。⑤ T：細くきりますか。A S：はい。うん。これ。形はこれ、えー、肉は野菜は、あー、入れます。そして、んー。⑥ T：どこに入れますか。肉や野菜をどこに入れるんですか。B S：あー。 T：なべ。C S：はい。んー、います、たくさん材料は、入ります。入れます。 T：なべに入れますか。はい。そして、 S：そして、んんん。 T：あ、なべはふたをしますか。D S：ん、はい。ん。あー、さいほうは、あん、このぶつは、あー、なべを、入れます。はい、水が入ります。⑦</p>	<p>①料理の名前が伝えられる ②餃子と同じことや大きさの説明ができる ③④材料の名前は挙げられる ⑤部分的な説明は伝わる ⑥形や、肉と野菜をどこに入れるか等の詳しい説明ができない A B C D E F 意味の通りづらところをテスターが確認すれば、話し続けられる ⑦説明を続けるが、詳しい作り方は伝えられない</p>

<p>T: その上から水を入れるんですね。E</p> <p>S: はい。そして、え、たぶん、ん、30分ぐらい、いいですよ。</p> <p>T: 焼きますか。E</p> <p>S: 焼きます。</p> <p>T: 30分ぐらい。</p> <p>S: はい。</p> <p>T: あ、そうですか。</p>	
--	--

この例では、肉まんじゅうについて、「餃子と同じ作り方」「調味料、トマト、肉などの材料」などは、何とか簡単に伝えられます（②～④）が、作り方の詳しい説明ができません（⑦）。積極的に話し続けようとはしていますが、言い換えや詳しい説明ができないため、テスターからの質問（A～F）に答える形でやりとりが進んでいきます。以上のことから△と判定します。

なおテスターは、A～Fの質問をするのを少し待つなど、働きかけをひかえれば、△の証拠をよりはっきりと引き出すことができたでしょう。